

X 林業振興対策

1. 林業構造改善事業

(1) 林業構造改善事業事業別実績

(単位：千円)

種 別		指 定 年 度	実 施 年 度	市 町 村 名	総 事 業 費
活 性 化 林 構	総 合 型	2	H3～H6	添田町	455,505
		3	H4～H7	浮羽町	607,666
		3	H4～H8	北九州市	448,046
		3	H4～H7	立花町	595,307
		4	H5～H10	前原市	456,261
		4	H5～H10	赤 村	553,952
		6	H7～H10	福岡市	673,199
		6	H7～H11	大平村	324,206
		7	H8～H12	嘉穂町	387,898
	産地形成型	5	H6～H11	上田川地域（大任町、赤村、添田町）	1,270,709
		6	H7～H8	八女地域（八女市、星野村）	26,149
		7	H8	筑後川地域（甘木市）	3,994
	資源活用型	4	H5～H7	宝珠山村	345,729
		5	H6～H8	黒木町	344,866
強化 林構	木材供給圏型	9	H9～H12	筑後・矢部川流域（久留米市、黒木町、杷木町、八女市、浮羽町、宝珠山村、矢部村、立花町）	1,097,767
景気対策林構		10	H10	遠賀川流域（添田町、大任町）	103,413
		10	H10	福岡流域（前原市、福岡市）	83,406
		10	H10	筑後・矢部川流域（立花町、宝珠山村）	51,500
経済新生林構		11	H11	福岡流域（前原市）	42,756
		11	H11	筑後・矢部川流域（上陽町、浮羽町）	8,931
確立 林構	集約化型	13	H13～H15	福岡市	220,279
林業・木材産業構造改革事業		—	H14	福岡市、那珂川町、庄内町	9,073
		—	H16	黒木町、上陽町	25,064
強い林業・木材産業づくり交付金		—	H17	うきは市、嘉穂町	171,767
森林・林業・木材産業づくり 交付金		—	H21	春日市、直方市、上毛町	151,880
		—	H22	春日市、大木町	1,148,442
合 計				—	9,607,765

2. 森林整備加速化・林業再生事業

平成22年度事業実績一覧

メニュー	事業内容	事業量	事業費 (千円)
1. 地域協議会の運営、調査・調整、 計画作成、普及等	協議会運営、事業計画の作成等	-	242
2. 間伐	不良木の淘汰	590.86 ha	124,845
3. 林内路網整備	作業道の整備	867.00 m	30,159
4. 森林境界の明確化	境界の明確化等	40.00 ha	1,810
5. 里山再生対策	森林病虫害防除	849.61 m ³	24,076
	侵入竹の除去	7.56 ha	
6. 高性能林業機械等の導入	高性能林業機械導入	5 台	64,470
7. 木材加工流通施設等整備	貯木場、製材施設整備、チップパー、 木材乾燥機導入	6 施設	538,703
8. 木造公共施設等整備		2 施設	321,093
9. 木質バイオマス利用施設等整備		- 施設	
10. 特用林産施設整備	竹炭製造設備	1 施設	81,375
11. 間伐材安定供給コスト支援		- m ³	
12. 流通経費支援		3,286 m ³	3,250
13. 利子助成		- 千円	
14. 地域材利用開発		- プロジェクト	
小 計		-	1,190,023

3. 入会林野近代化

(1) 入会林野等の集団数及び面積

農林事務所 区分	総 数		整 備 済		未 整 備	
	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積
総 数	258	10,952	105	4,909	152	6,043
筑後・矢部川流域	54	2,102	22	766	32	1,336
筑 後	15	331	2	25	13	306
朝 倉	39	1,771	20	741	19	1,030
福岡流域	80	2,949	18	829	62	2,120
福 岡	80	2,949	18	829	62	2,120
遠賀川流域	124	5,901	63	3,251	61	2,650
飯 塚	71	3,727	47	2,563	24	1,164
八 幡	15	987	9	452	6	535
行 橋	38	1,187	9	299	29	888

(注) 平成22年度末現在

(2) 入会林野整備実績

年 度 区分	総 数			生 産 森 林 組 合		
	事業所数	人 数	面 積	事業所数	人数	面積
13	2	115	53	1	92	35
14	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0	0
16	0	0	0	0	0	0
17	0	0	0	0	0	0
18	0	0	0	0	0	0
19	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0
21	2	136	63	0	0	0
22	0	0	0	0	0	0

(単位：面積 ha)

対 象 市 町 村 名
八女市、みやま市
久留米市、うきは市、朝倉市、筑前町、東峰村
福岡市、筑紫野市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町
直方市、飯塚市、宮若市、嘉麻市、鞍手町、桂川町、添田町、川崎町、赤村
北九州市、岡垣町
行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町

(単位：人数 人、面積 ha)

個 人 分 割			生産森林組合以外		
事業所数	人数	面積	事業所数	人数	面積
1	23	18	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	2	136	63
0	0	0	0	0	0

3. 林業労働力対策事業

(1) 林業労働安全衛生指導体制強化事業

地域における総合的な林業労働安全衛生対策の推進のための体質強化、作業現場における林業労働安全衛生への取組みのためのきめ細やかな指導活動、林業従事者の健康保持増進のための指導教育等を推進することにより、作業における労働安全衛生の確保を図る。

ア. 安全巡回指導（実施主体 林業・木材製造業労働災害防止協会福岡県支部）

年度	事業費	指導事業場数	点検指導箇所数				備考
			造林関係	素材生産関係	その他	計	
22	1,553,000円	130事業場	27ヶ所	163ヶ所	139ヶ所	329ヶ所	指導員 20人

(2) 林業事業体等安全衛生推進体制強化事業

林業における振動障害問題に対処するため、振動障害防止についての普及啓発を図り、一人親方等の特殊健診（一次健診）及び要精密健診者に対する二次健診を促進するほか、重点林業事業体に対して振動障害を予防するための診断指導を行うことによって振動障害対策の充実を図っている。

ア. 一人親方等特殊健診促進事業（一次健診）

年度	事業費	受診者	健診結果		備考
			異常なし	要精密	
18	288,750円	50人	44人	6人	
19	288,750円	50人	45人	5人	
20	490,875円	85人	80人	5人	
21	288,750円	50人	46人	4人	
22	462,000円	80人	78人	2人	

イ. 二次健診（H6年度から（公財）福岡県水源の森基金にて実施）

年度	事業費	受診者	健診結果			備考
			障害がほとんどないもの	障害が認められるが療養を要する程度ではないもの	障害が明らかに療養を必要とするもの	
18	390,750円	28人	22人	6人	0人	
19	249,000円	12人	8人	4人	0人	
20	170,250円	7人	4人	2人	0人	その他3人
21	135,000円	5人	5人	0人	0人	
22	88,200円	6人	6人	0人	0人	

ウ. 労働災害防止普及啓発

年度	事業費	備考
18	26,000円	労働災害防止のための啓発用ポスター頒布
19	26,000円	〃
20	26,000円	〃
21	26,000円	〃
22	26,000円	〃

(3) 林業労働力確保支援センター事業（実施主体（公財）福岡県水源の森基金）

林業労働力の確保を図るため、平成10年4月1日に（公財）福岡県水源の森基金を林業労働力確保支援センターに指定し、当該センターにおいて、林業事業体に対して雇用管理の改善の指導、新規就業希望者に対する情報提供及び相談、研修事業等を実施し、林業労働力の育成確保を図っている。

ア. 基幹林業労働者育成技術研修事業

近年における林業労働者の減少及び高齢化の進行に伴い、伐木造材、集運材等の作業に係る専門的技術を有する林業労働者の確保が著しく困難になっている。

このため、基幹となる林業労働者を対象に広範・高度な知識技能を習得させ、地域林業労働の中核となる林業作業士（グリーン・オペレーター）として育成し、林業労働者の確保に資する。

年度	区分	事業費	備考
22	研修実施費 (研修経費)	2,200,000円	研修人員 7人 研修日数 48日

イ. 林業安全研修事業

林業の安全な作業に必要な基本的な研修を実施して、将来の作業員のリーダーとなりうる人材を育成し、林業労働者の確保に資する。

年度	区分	事業費	備考
22	研修実施費 (研修経費)	1,004,548円	研修人員 14人 研修日数 20日

(4) 農林管内別作業班組織状況（森林組合関係）

（単位：人）

農林事務所	区分	総数	伐出班	造林班	その他
	総数	232	24	156	52
筑後・矢部川流域		99	19	64	16
	筑後	55	8	33	14
	朝倉	44	11	31	2
福岡流域		29	2	19	8
	福岡	29	2	19	8
遠賀川流域		104	3	73	28
	飯塚	68	3	57	8
	八幡	—	—	—	—
	行橋	36	—	16	20

資料：団体指導課調べ

(5) 年齢別林業就業者数の推移

（単位：人、（ ）は構成比（%））

年次	年齢	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	計
昭和	45	(9) 147	(25) 398	(29) 471	(21) 329	(7) 110	(9) 139	(100) 1,594
	50	(10) 125	(15) 202	(34) 453	(25) 325	(8) 99	(9) 113	(100) 1,317
	55	(7) 110	(11) 170	(30) 469	(34) 518	(9) 139	(9) 137	(100) 1,543
	60	(6) 83	(12) 163	(20) 275	(39) 544	(13) 189	(10) 138	(100) 1,392
平成	2	(5) 50	(8) 88	(17) 174	(40) 426	(18) 187	(13) 132	(100) 1,057
	7	(7) 66	(10) 96	(16) 159	(24) 240	(19) 193	(24) 237	(100) 991
	12	(7) 58	(12) 101	(13) 114	(24) 202	(17) 144	(26) 223	(100) 842
	17	(7) 41	(11) 60	(14) 79	(27) 155	(10) 55	(31) 178	(100) 568

資料：平成17年国勢調査（狩猟業を含む）

(注) 林業就業者：林業に就業している者。国勢調査では9月末1週間に主として林業に従事した者。

4. 間伐対策事業

(1) 間伐材流通対策事業（実施主体 県森連）

間伐材流通の円滑化を図るため県単独事業により、昭和60年度から実施している。

年度	事業量	補助額	備考
22	35,178m ³	5,700,000円	

(2) 森林整備推進対策事業

公益的機能を発揮させる必要のある森林が一定規模以上集団的に存在する市町村において、間伐を集团的かつ効率的に実施するために必要な機械の導入、基幹作業道の開設及び関連施設の整備を行う。

（平成14～17年度：間伐等森林整備促進対策事業・平成18年度～：森林整備推進対策事業）

事業種目		林業機械作業システム整備事業			基幹作業道整備事業		
年度・農林	事業量等	機 械 名	数量	補 助 額 (千円)	路 線 数	延 長 (m)	補 助 額 (千円)
19	グラップル付きトラック バックホウ グラップル付きバックホウ フォワーダ	1台 1台 1台 1台	7,566 1,982 3,240 3,906				
20	ハーベスタ バックホウ フォワーダ グラップル付きバックホウ	1台 1台 2台 1台	7,470 1,939 7,480 2,424				
21	ハーベスタ フォワーダ プロセッサ	1台 2台 1台	6,920 7,080 8,640				
22		7台	39,654				
22年度 内 訳	朝倉	ハーベスタ フォワーダ グラップル付きバックホウ	1台 1台 1台	7,080 3,800 3,361			
	飯塚	グラップル付きバックホウ 機械保管庫 クレーン付きトラック	1台 1棟 1台	3,420 5,328 10,629			
	行橋	グラップル付きバックホウ	2台	6,036			